

平成24年9月定例会一般質問表

9. 6、7、10

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
1	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>1. クロスする大動脈道路完成後の南陽市のランドデザインについて</p> <p>早ければ平成29年度に東北中央自動車道と国道113号バイパスが完成する。そこに照準を当て誘客対策を立て、本市が通過するだけにならないように南陽市の観光ランドデザインを今から具体的に計画をしなければならぬと考えます。</p> <p>第5次南陽市総合計画の中にこの視点でのアプローチはないが、「おもしろい南陽市、行ってみたい南陽市、住んでみたい南陽市」と言われるようなストーリーづくりと交流の場の拠点が必要です。</p> <p>まさに、本市の自然、建物すべてが生き物と化す演出・プレゼンテーションです。すぐれた立地条件のスカイパークや南陽市でないとできないユニークな施設の整備とソフトの活用が求められます。</p> <p>たとえば、「龍と獅子の棲むまち南陽市」と称して大動脈がクロスするところから白竜湖、十分一山、そして、梨郷地区の龍樹山まで南陽市全域を自然博物館として俯瞰し、新文化会館を拠点としたまちづくりを行う。そして、農産品や商品開発に龍のネーミング（たとえば、龍の涙、龍の鼻くそ、龍のひげ…など）、また各種大会などすべてのネーミングのよりどころとする。（ここでいう龍とは南陽市民の向上する純粋な心そのものを比喻しています。）</p> <p>具体的には、次のとおりです。</p> <p>(1) 新文化会館を観光、文化の交流の拠点として位置づけ、ストーリーの一環として活用する。（たとえば龍や獅子の隠れ家）</p> <p>(2) 飛んで龍になろう 飛ぶ体験と南陽スカイパークの整備</p> <p>① スカイスポーツのメッカとして、市内中学生や南陽高校生にタンデム（二人乗りパラグライダー）飛行の体験 飛んで、その解放感を体験してもらおう。数十名分全額補助</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>② 上下水道設備の新設</p> <p>③ ランディングパークの整備</p> <p>上記について、来年度以降の実施について予算措置を含めお伺いします。</p> <p>2. スポーツ施設の充実による交流と誘客の施策について 第5次南陽市教育振興計画では、新たに提唱した「社会学融合」という教育理念をもとに今後10年間の本市の教育を、市民の主体的な学びの推進や地域ぐるみの人づくりを進め、教育日本一のまちづくりの具体化をめざすとあります。</p> <p>その教育の観点に加えて、子どもからシニアまで「おもしろい南陽市、行ってみたい南陽市、住んでみたい南陽市」と言われるような観光とのコラボ、それに見合う環境と施設の整備と充実が欠かせません。</p> <p>また、情報を発信して人を呼ぶだけでなく、置賜管内のイベントや大会情報を事前にキャッチして宿泊客として迎えるしたたかなシステムの構築と戦略が必要です。</p> <p>そこで以下のことについてお伺いします。</p> <p>(1) スポーツ施設の充実</p> <p>① 中央花公園多目的運動広場人工芝グラウンド ・ 照明施設 ・ 東側フェンスの嵩上げと南側の貯水池前にフェンス設置 ・ 石灯籠の撤去</p> <p>(2) スポーツ施設整備の中長期計画</p> <p>① 人工芝サッカー場の建設</p> <p>② 多目的室内競技場の建設</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>(3) やりたい種目ができる環境づくり 沖郷中学校にサッカー部の創設</p> <p>沖郷サッカースポーツ少年団（現在は南陽ウエストFC）は来年20周年を迎えますが、沖郷中学校にサッカー部がなく少年団を卒団して部活動として毎日好きなサッカーに打ち込めないまま20年が過ぎました。</p> <p>① 団員も50名を超え、来年こそサッカー部をつくってほしいと保護者会などにより子どもたちが願っています。</p> <p>(4) イベント大会情報の事前キャッチと宿泊誘致</p> <p>① 観光協会などが置賜管内で開催されるイベントを事前にキャッチして、主催者側とコンタクトをとり旅館組合と連携して宿泊誘客する。いわゆる、WIN・WINの接続可能な契約関係として、商談が成立したら相応の報酬を観光協会などに支払う。</p> <p>3. 市職員の労働安全衛生対策について</p> <p>7月に市職員の現職死亡がありました。将来有望な職員の死は誠に残念です。心から哀悼の意を表すとともに二度とないようにするにはどうしたら良いか対策を立てなければならないと思います。</p> <p>さまざまなことが重なったことだとは思いますが、やるべきこととするべきことは職員の労働安全衛生の徹底だと考えます。</p> <p>現在の労働安全衛生法上しなければならないことの安全衛生委員会の開催状況や内容をお伺いします。</p> <p>なお、時間外勤務は事前命令行為であります但実態はどうなのかお伺いします。</p>	市 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	1 番 白 岩  孝 夫  議 員	<p>1. 本市のブランド推進におけるICTを利用した情報発信について 本市第五次総合計画の戦略の柱である「教育」「産業」「健康」のまちづくりを推進する中で、本市では産業振興の基本戦略に「南陽ブランド」の発信を位置づけて推進しています。 本市が誇るもの全てを「南陽ブランド」として、経済活性化と市勢の発展を目指していく上で、近年ICT、とくにSNSを活用して情報を発信し、名称の普及、観光客増加、販路拡大、地域振興に役立てる自治体が相次いでいることを踏まえ、本市におけるICTを利用した情報発信、すなわちブランド推進を促進する趣旨で、情報発信の状況や課題などの認識について、以下の点をお伺いします。</p> <p>(1) 情報発信の現状と課題について</p> <p>(2) 公式HPの管理・運用状況について</p> <p>(3) 自治体におけるSNS活用に関する認識について</p> <p>(4) 適切な情報発信を行うためのガイドライン策定の必要性について</p> <p>(5) 南陽ブランド推進課設置の効果について</p> <p>(6) 商工観光ブランド課へ組織改編の意義、効果、課題について</p> <p>(7) 情報発信の今後の取り組みについて</p>	市 長
3	6 番 片 平 志 朗  議 員	<p>1. 学童保育の拡充について 学童保育連絡協議会の調査によると、全国の学童保育の利用児童数が過去最高の84万6,919人で、施設数も2万843ヶ所となり、1993年の調査以来過去最多となった。また大規模な施設も増加しており、(今年の5月現在)71人以上の大規模保育施設が前年より101ヶ所多い1,352ヶ所となり、この内100人以上の施設も277ヶ所ある。 大規模化で事故やケガが増えることが指摘されており、国は2007年に定めた指針で、集団の規模は40人程度が望ましく、最大で70人までとしている。また、</p>	市 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
3	6 番 片 平 志 朗 議 員	<p>潜在的に希望しても利用できない子供が多くいるとみられている。このことから量と質の両面から学童保育の拡充を図る必要がある。</p> <p>以上のような観点から何点かお伺いする。</p> <p>(1) 市内の学童保育の現状と課題について (施設と利用者数・各学校の利用割合)</p> <p>(2) 今後の利用見込について</p> <p>(3) 今後の対策について</p> <p>2. 増加していく認知症に対する施策について</p> <p>認知症の高齢者は300万人を超え、2002年の149万人から、この10年間で倍増している。厚生労働省の推計では2012年には305万人(65歳以上人口に占める割合9.8%)、2015年では345万人(10.2%)、2025年では472万人(12.8%)。これは2002年推計を大幅に上回るものである。</p> <p>前回の推計を大幅に上回った背景には、急速な高齢化、認知症の啓発が進み受診者が増えてきた事が大きいと見られている。</p> <p>この推計は厚生労働省が近くまとめる新対策の整備計画に反映されると言われておりますが、高齢者にとってはいつ発病するかわからない不安があり、家族を含めて身近な問題です。</p> <p>したがって施設の整備、専門職の人材の育成と確保、支援体制等々取り組む課題があります。</p> <p>以上のような観点から何点かお伺いします。</p> <p>(1) 当市の認知症者の現状は。 (人数と高齢者の占める割合等)</p> <p>(2) 受け入れ施設は充分か。</p> <p>(3) 今後の施策はどのように考えているのか。</p>	市 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
4	15 番 佐 藤 明 議 員	<p>1. 法「改正」後の介護保険について</p> <p>(1) 改定介護報酬のもとでの利用者、介護現場の実態は。</p> <p>(2) 生活援助の見直しは。</p> <p>(3) 費用負担が増え、サービスが削減されているのでは。</p> <p>(4) 事業所の経営・運営をめぐって多くの事業所で収益減が予測され、事業所の存続にかかわる深刻な影響も出ているとお聞きしておりますが実態はどのようになっているのか。</p> <p>(5) 介護職員処遇改善交付金が介護報酬に組み込まれ、処遇改善加算が新設されましたが、介護職員の処遇改善は進んでいるのか。</p> <p>(6) 介護現場からも、地域からも介護の改善を求める声は早くも出ておりますがどのように対応されるのか。</p>	市長
5	4 番 山 口 正 雄 議 員	<p>1. 市税及び国民健康保険税について</p> <p>(1) 第二次行政改革大綱で市税、国民健康保険税の目標収納率が示されておりますが、ここ数年の収納率の推移及び収入未済額についてお伺い致します。</p> <p>(2) 不能欠損額は平成19年度から増加し、22年度は47,600千円、23年度50,100千円程となっておりますが、今後の見通しについてお伺い致します。</p> <p>(3) 厳しい市の財政状況が続く中で、収納率向上がはかられ、収入未済額は平成22年、23年と2年連続減少しておりますが、まだ、多額の収入未済額があります。市政に与える影響も含め市長の見解をお伺い致します。</p> <p>(4) 国民三大義務の一つとして納税の義務が憲法30条に謳われておりますが、更なる収納率改善をはかる上での課題と改善策についてお伺い致します。</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
6	11 番 板 垣 致 江 子 議 員	<p>1. 教育について</p> <p>(1) 昨年10月大津市の中学2年男子生徒がいじめを苦にして自殺した問題は、学校や市教育委員会のずさんな調査や対応が表面化し、マスコミでも連日報道されています。</p> <p>現場の対応に「不安」を感じると、文部科学省は8月1日いじめを苦しめた自殺などが起きた場合、学校と教育委員会が原因や背景を速やかに調査できるよう「子ども安全対策室」を設置しました。</p> <p>また、全国の教育委員会に対し、いじめの件数や取り組みについて緊急アンケートを通知したとされている。</p> <p>大津市の自殺問題を受け、新たな取り組みをしたか、いじめの件数を「からかい」「集団による無視」「金品をたかれる」などの内容別に報告を求め、重大な案件の対応なども尋ねているということです。</p> <p>南陽市の対応状況をお伺いします。</p> <p>① 児童・生徒、保護者等へのアンケート調査の実施状況</p> <p>② 全国的なマスコミ等の報道やインターネット上の心ない行為の影響が心配されるが、それらの影響はないか。</p> <p>③ 現在の不登校の状況は。</p> <p>(2) 第5次南陽市教育振興計画の中では確かな学力の定着のために、読書習慣の確立と読書活動の充実を図るとされ、学校図書の実充に努めるとされております。文部科学省も平成19年からの「学校図書館図書整備5ヶ年計画」に続き、平成24年度からの「新5ヶ年計画」で、学校図書館図書標準を目指し、単年度で約200億円の措置が講じられ、今回初めて新聞を活用した学習を行う環境を整える経費と学校司書の配置に要する経費も講じられたとされたが、次の点をお伺いします。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
6	11 番 板 垣 致 江 子 議 員	<p>① 南陽市内、各学校蔵書数は学校図書標準をどの程度達成されているか。</p> <p>② 予算措置されたとする図書購入事業、新聞の活用、学校司書の配置への取り組みのお考えは。</p> <p>2. 産業のまちづくりについて</p> <p>(1) 東北中央自動車道や国道113号バイパスの完成に向け通過される市でなく「おもしろい南陽市、行ってみたい南陽市、住んでみたい南陽市」とするために、第5次総合計画のスタートの23年度は、人材育成と南陽ブランドの発信が大きな役割を果たすとし、南陽ブランド推進課が設置されました。今年度、業務の効率化と情報発信の一元化を図るため、商工観光課と統合し商工観光ブランド課となりましたが、昨年から取り組まれた「地域資源を活かした新たな産業ブランド化」の成果や今後の取り組みをお伺いします。</p> <p>① 新たな南陽ブランドの商品開発の状況</p> <p>② ブランド商品の販売拠点を設けるなどの構築状況</p> <p>③ グリーンツーリズムや6次産業化の状況</p> <p>(2) 南陽市の玄関口赤湯駅は、サーマルプラザに障害者用トイレを設置していただいた頃と大きく変わり、観光南陽の顔となっていきました。</p> <p>南陽のんまい市場「駅の駅なんよう」のオープンや軽食もできるなど大変利用しやすいにぎやかな所となりましたが、駅入口、サーマルプラザ入口は重いドアのままです。</p> <p>障害者やお年寄りそして子どもさんには不便で危険も伴います。自動ドアの設置が望まれます。観光南陽市として、赤湯駅は完全バリアフリーとすべきと考えますが市長の考えをお伺いします。</p>	市 長 関係課長